


清掃一組の 国際協力事業の取組について

清掃事業国際協力室
清掃事業国際協力課

清掃一組の国際協力事業の取組についてご紹介させていただきます。
よろしくお願いいたします。

目次

- 1 国際協力事業について
 - 2 区民向け啓発事業について
 - 3 まとめ
- 

こちらがお話しする内容になります。

最初に国際協力事業全体について、続いて区民の皆様向けの啓発事業について、最後にまとめをお話いたします。

1 国際協力事業について



はじめに、国際協力事業についてお話しします。

清掃一組では平成24年度に策定した「東京23区清掃事業の国際協力に関する基本方針」に基づき、23区と共に廃棄物処理から生じる様々な環境問題を抱える海外諸都市に対して技術的助言や人材育成への支援を行うなど、それぞれの都市にあった廃棄物の適正処理の推進に協力してきました

。

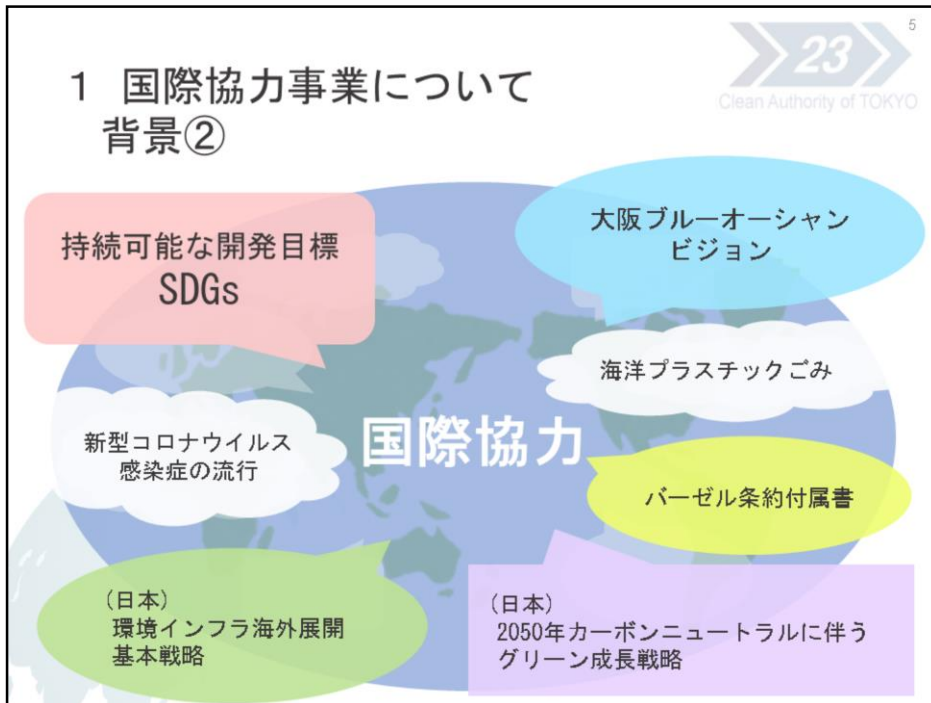


1 国際協力事業について 背景①

海外諸都市では、ごみの不法投棄や不衛生な埋立処分など様々な課題を抱えています。

東京23区はそんな海外諸都市から、ごみの分別、収集・運搬、住民協力や処理施設の建設といった廃棄物に関わる幅広い分野への協力を求められてきました。

これまで多くの方々が東京23区の廃棄物に関する知識や経験を学ぶために清掃工場や収集現場の視察に来ました。



また、近年、SDGsや海洋プラスチックごみ問題への対策など世界的な廃棄物関連の取組の推進や新型コロナウイルス感染症の流行など社会的・経済的に大きな変化がありました。

この変化の中、私たちは、これまでの10年間、ごみ焼却施設の導入や海外人材の育成等の協力を行ってきたことで、今後の国際協力事業の方向性を明確化させ、新たな取組を推進するための事業計画の策定をしました。

1 国際協力事業について 国際協力事業概要①

東京二十三区清掃事業国際協力 アクションプログラム

《基本理念》

～グローバルな貢献と

地域のアクションを結ぶ～

東京23区の清掃事業の経験とノウハウを活用し、
海外の廃棄物の課題解決に協力することで、
地球環境の保全に貢献する



それがこちらの「東京二十三区清掃事業国際協力アクションプログラム」です。

国際協力を行うことは、海外諸都市の課題解決、海外人材の育成、ひいては地球環境の保全につながっていきます。

このアクションプログラムは、『グローバルな貢献と地域のアクションを結ぶ』を基本理念として、東京23区における清掃事業の経験やごみ処理技術のノウハウ等を広く発信し、環境問題に直面している海外諸都市の課題解決に協力することで、地球環境の保全に貢献していくためのものです。

1 国際協力事業について 国際協力事業概要②

東京二十三区清掃事業国際協力 アクションプログラム

《基本的な考え方》

- ☆ 23区と連携し、収集・運搬から中間処理まで一体となった国際協力を展開していく。
- ☆ 国の海外展開戦略や都、23区の友好事業への参加により貢献していく。
- ☆ 事業の実施に当たっては、評価・検証を行いながら進めていく。

そして、こちらを基本的な考え方として事業を進めてまいります。

「23区と連携し、収集・運搬から中間処理まで一体となった国際協力を展開していく。」、「国の海外展開戦略や東京都、23区の友好事業への参加により貢献していく。」、「事業の実施に当たっては、評価・検証を行いながら進めていく。」です。

この3つの考え方に基づき、事業をより効果的・効率的に実施してまいります。

では、次より具体的な事業についてご紹介いたします。

1 国際協力事業について 国際協力事業概要③



3つのアプローチ

海外諸都市への
技術的助言

海外人材の
育成支援

パートナーシップの
推進



「東京二十三区清掃事業国際協力アクションプログラム」では、先ほどの基本的な考え方に基づき、3つのアプローチで国際協力を行ってまいります。

『海外諸都市への技術的助言』、『海外人材の育成支援』、『パートナーシップの推進』です。

1 国際協力事業について 国際協力事業概要④

3つのアプローチ



こちらがその3つのアプローチをイメージにしたものです。

簡単にお話すると、海外へ職員を派遣して助言を行う事業、海外からの研修生を受入れる事業、国内の関連機関との連携強化や区民の皆様へ情報発信をする事業になります。

では、次のスライドからそれぞれの事業についてご紹介させていただきます。

10

1 国際協力事業について 海外諸都市への技術的助言



**事業実施可能性調査等の
協力団体としての参加**

現地の廃棄物事情の調査
に協力し、助言等を行う



**国等の要請に基づいた
国際会議への職員の派遣**

国際会議等で廃棄物行政
についての講演を行う



はじめは、「海外諸都市への技術的助言」についてです。

実際に現地に渡航し、有効な助言をしていくものです。

ひとつ目の「事業実施可能性調査等の協力団体としての参加」では、特定の国や都市に対して、日本の国や国際協力機関が実施する、現地の廃棄物事情に関する調査に協力し、技術的なサポートをする事業です。また、調査を行う事業者と共に、現地関係者との協議等も行います。

ふたつ目の「国等の要請に基づいた国際会議への職員の派遣」は、国際会議などに出席し、講演をする事業です。東京23区における廃棄物行政について外国の関係者に対し講演を行い、意見交換を行います。

11

1 国際協力事業について 海外人材の育成支援



海外からの研修生受入れ

収集現場や分別、清掃工場などの紹介および講義

研修プログラムの充実

現地のニーズに寄り添った研修プログラムの作成



次に「海外人材の育成支援」です。

こちらは、海外諸都市から来日した廃棄物関係の研修生に対し、23区や清掃一組の廃棄物行政の知識やノウハウを伝えていく事業です。

ひとつ目の「海外からの研修生受入れ」では、JICAなど国際協力機関が実施する研修生の受入れ事業に協力し、23区の収集現場や清掃工場などで廃棄物処理における自治体の役割についての理解促進をめざし、研修を行います。

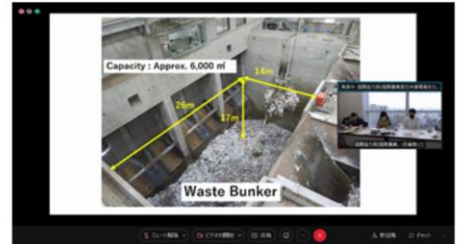
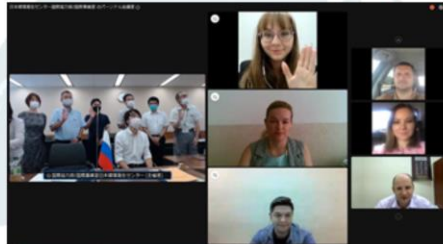
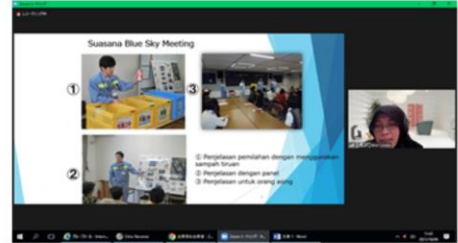
海外の廃棄物行政職員の方だけでなく、首相や大臣といった要人の方々も視察に来られます。

右下の写真はマレーシアの大臣の方が杉並清掃工場に視察に来られた際のものです。

ふたつ目の「研修プログラムの充実」では、海外諸都市からの支援ニーズも多様化していることから、収集・運搬から中間処理まで一体となった研修プログラムの作成を進めています。

1 国際協力事業について オンラインでの国際協力

(海外諸都市への技術的助言・海外人材の育成支援)



なお、現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により海外との往来が制限されているため、オンライン会議システムを活用して従来と変わらない助言や講義を行っています。

1 国際協力事業について パートナーシップの推進



国際協力事業に係る 区民向け広報の充実

国際協力事業の周知
国際的な視点で3Rの啓発



関係機関との連携 職員の人材育成

国際協力機関との連携強化
国際協力事業の経験の共有



続いて、「パートナーシップの推進」です。

近年のSDGsなどの国際的潮流の中では、一人ひとりが持続可能な開発目標のために行動を起こしていくことが求められています。

また、地球環境の保全という世界共通の課題解決を目指していくためには、多くの関係者が協力し、一体となって取り組む必要があります。


この「パートナーシップの推進」の取組は、連携体制を幅広く、かつ強固なものにするため、国際貢献を区民理解やパートナーシップの構築、人材育成につなげ、さらに質の高い持続可能な国際協力事業を推進していくための基礎的な事業になります。

ひとつ目の「国際協力事業に係る区民向け広報の充実」では、23区と協力し、区民の皆様にも国際協力事業やごみの減量などについて情報発信をしています。

ふたつ目の「関係機関との連携、職員の人材育成」では、23区や清掃一組職員向けの情報誌の発行や連携を図っています。

次のスライドより、上段の「国際協力事業に係る区民向け広報の充実」についてさらに詳しくご紹介いたします。

2 区民向け啓発事業について



この事業は、これまでの国際協力事業の経験を活用して23区と連携し、区民の皆様に情報発信を行っていく事業になります。

2 区民向け啓発事業について 目的

国際的な視点での
3 R意識の醸成

国際協力事業の周知

2 3 区の啓発事業

RRR
Reduce Reuse Recycle



この事業では、「国際的な視点での3R意識の醸成」や「国際協力事業の周知」を目的としています。

23区と清掃一組が実施している国際協力事業を広く周知することで、国際社会の一員として地球規模の課題であるプラスチックごみや食品ロスなどの削減に向け、3Rによりいっそう取り組む意識の醸成をめざしていきます。

23区の啓発事業と連携して実施する事によって、ごみに関する情報をより効果的に伝えることができるものと考えています。

2 区民向け啓発事業について 内容①



今日から始めよう! SDGs

1. SDGsってなに?
SDGs(持続可能な開発目標)とは、(Sustainable Development Goals) 2030年までに持続可能なよりよい世界を築く。『誰ひとり取り残さない。Leave no one behind.』を基本理念とした、世界の共通の目標です。経済・社会・環境の3つの側面から考え、17の目標(目標)と169のターゲット(具体的な目標)によって構成されています。

2. なんて作られたの?
経済、環境、生物多様性、経済成長、貧困の減少、エネルギー、健康、性別平等、平和と公正、気候変動。このままでは、われわれを脅かす危険な増加し、自らすべての人が安心して暮らすことが出来なくなってしまう可能性があります。そこで、世界中の様々な立場の人が意見を交し合い、全ての人を安心して暮らすことができると考え、目標を設定してSDGsを作りました。世界中が協力して課題の解決に取り組むことで実現しました。

3. ごみにまつれるSDGs
取り組もう! SDGsアクション
まじくごみの分別にご協力しましょう!
資源の活用を促す!
ごみを減らそう!
使い捨てプラスチックの削減を促そう!

4. 誰かを支援はしたいの?
SDGsを達成するには、国や地方自治体、民間企業、教育機関、研究機関などが取り組む必要があります。一人ひとりがSDGsを意識し、身の回りから課題の解決に向けて行動を起こすことが重要です。日常の中であらゆる場面でできることを実践して取り組まましょう。例えば、この日のゴミを分別すること、家電の節約をするなど、マイボトル・マイバックを持ち歩くこと、などです。

← SDGsについて

↓ 世界のごみ問題について



過去の事業の記録写真



世界中で悩んでいるごみの問題

世界中であふれるごみ
世界全体でのごみの量は、年間約104億トン(2019年)出まると、このままだと2030年には毎日に約22.1億トンに増えるといわれています。このごみの中には、資源になったものや食品ロスなど有効活用できるものも含まれています。また、回収できずにごみが残る。収集や処理が間に合わずにごみが残ってしまったり、その処理の悪化が心配もみられます。

食品ロス
世界全体では、年間約13億トン(2019年)の食糧が捨てられています。これは人のために作られた食糧の約1/3に相当します。ロスや廃棄を減らしたい人は、世界中で活動し、その中でも食料ロスの削減は1.5億人にも関わっています。これは世界の人口の1/3が関与定になっていることとなります。

地球温暖化(環境汚染)
ごみなどの焼却処理は、適切に処理されずに燃やされると二酸化炭素の20%以上の高気酸があるメタンガスが発生し、地球温暖化の原因になります。燃やせば燃やせば、高気酸などの自然災害や感染症の拡大、生態系への影響など、ふたつで多く地球全体の生態に影響が出ると考えられています。

プラスチックごみ
毎年約800万トンものごみが海に流れ出で、なかでも海洋プラスチックごみの量は、2025年にはその量を倍増するといわれています。海洋プラスチックごみは、海の生態系に影響がなるとかや動物を傷ついたり人の健康被害が出ることも心配されています。本県がプラスチックごみ削減活動により、海洋プラスチックごみの削減がすすんでいくことを目指しています。

こちらは実際に事業の中で展示したパネルです。

SDGsが、身の周りのこととどう繋がっているかをごみの問題や国際協力事業と関連付けて紹介しています。

左側のパネルでは、SDGsについて簡単に紹介しています。右側のパネルでは、SDGsとごみの問題を関連付けて紹介しています。

なお、こちらの右側のパネルで使っている写真には、私たちが実際に現地で見えてきたもの使っています。

2 区民向け啓発事業について 内容②

**23区と東京二十三区清掃一部事務組合は
海外のごみ問題の改善に協力しています！**



東京二十三区清掃一部事務組合

← 東京23区と清掃一組の
国際協力について
↓ 区民アンケート

2021年10月13日～17日
会場区「すあな」環境フェア2021

みんなのSDGs

持続可能な社会のために、
あなたが取り組んでみたいことやすでに取り組んでいることにシールを貼ってね！



持続可能な未来のためにできることはたくさんあります。
身近な課題に取り組もう！

パネル展示では、今後、具体的にどのような行動に移していくかをうかがう簡単なアンケートをとりました。

こちらの右側の写真が、アンケートパネルです。

2 区民向け啓発事業について 内容③



2021年10月13日～17日
墨田区「すみだ環境フェア2021」

みんなのSDGs

持続可能な社会のために、
あなたが取り組んでみたいことやすでに取り組んでいることにシールを貼ってね！

11 住み分けられるまちづくりを
ルールを守った分別とごみ出しでまちをきれいに保ちます

12 つくる責任 つかう責任
食べ物を無駄にしません

13 気候変動に具体的な対策を
ごみを減らして温室効果ガスの発生をおさえます

14 海の豊かさを守ろう
マイボトルやマイバックを使って、使い捨てプラスチックの使用を減らします

持続可能な未来のためにできることはたくさんあります。
身近な課題に取り組もう！

アンケートパネルを拡大したものです。

ごみの問題と関連させ、SDGsのNo. 11～14のゴールと具体的な取り組みをアンケートにしました。

こちらは墨田区役所で行われた「すみだ環境フェア2021」でのアンケートで、274名の方に参加していただきました。

一番回答が多かったものは、「No. 12 つくる責任つかう責任」に関連した取組の「食べ物を無駄にしません」でした。

このように、世界の廃棄物事情から身の回りの生活に改めて目を向けてもらうような紹介をしていくことで積極的に3Rなどに取り組む意識醸成を図っていこうと考えています。

2 区民向け啓発事業について 事例紹介

練馬区

スタート！エコライフ2021
2021年6月11日～6月15日



中野区

なかのエコフェア2021
2021年11月13日



こちらは、実際に今年度実施した事業の一部になります。

各区の環境啓発事業へ出展しました。

左が練馬区主催の『スタート！エコライフ2021』、右が中野区主催の『なかのエコフェア2021』で、それぞれのイベントにブース出展しました。

令和3年度は、6区で7件の事業を実施しております。

パネル展では、清掃一組として清掃工場や関係所管と共同で出展し、清掃一組の他の事業と組み合わせた形で実施しました。

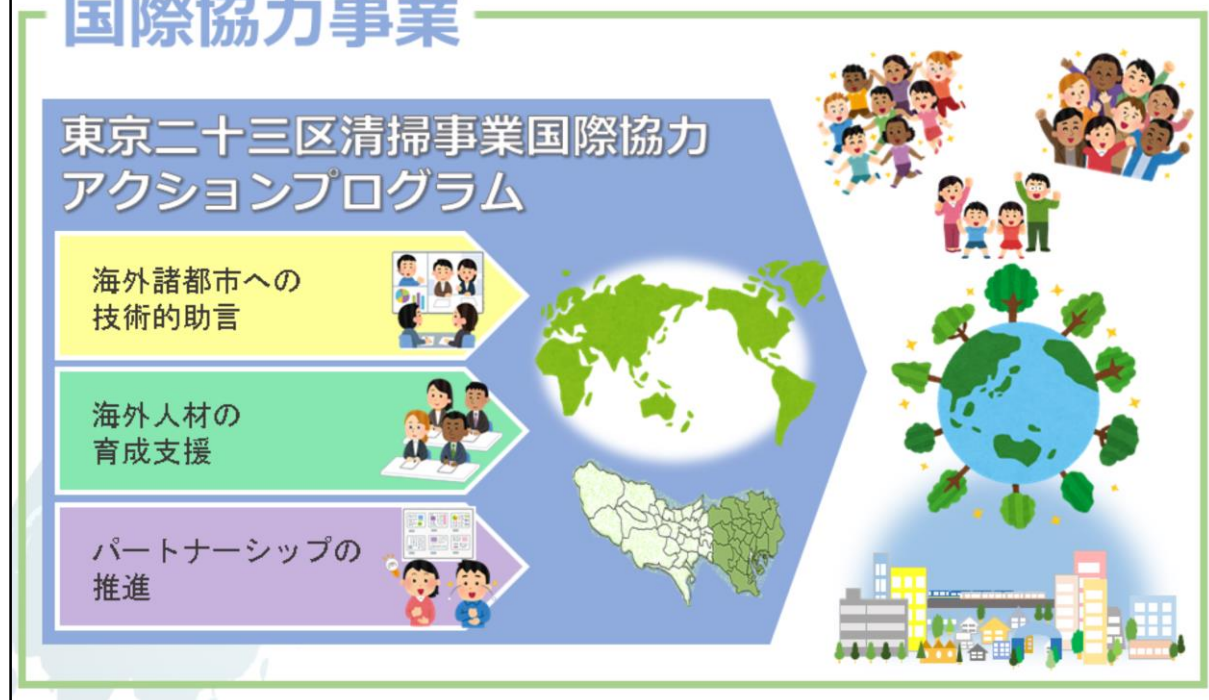
今後も、こういったイベントなどの事業の中で、区民の皆様へ国際協力事業の経験や活動をお知らせしていきます。

3 まとめ

では、最後に今までお話ししたことをまとめさせていただき、結びとさせていただきます。

3 まとめ

国際協力事業



東京23区でも、かつては海外諸都市と同様に、様々なごみ問題に悩まされ多くの課題を抱えていましたが、区民の皆様とともに長い年月をかけて現在の衛生的かつ安全で安定的なごみ処理体制を構築することができました。

海外諸都市においても、このような環境になるには長い年月が必要であり今後も友好的で息の長い支援が不可欠となってきます。

今後は、「東京二十三区清掃事業国際協力アクションプログラム」に基づき、23区や関係機関との更なる連携・協力を図りながら、海外諸都市の課題解決に貢献してまいります。

また、行政側の取組にとどまらず、区民の皆様一人ひとりの行動を地球環境問題の改善につなげていけるよう、積極的に情報発信を行ってまいります。

ご視聴ありがとうございました。

Thank you for your watching!



説明は以上になります。

ご視聴いただきありがとうございました。